



福島医発第352号(地)

平成24年 5月 2日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻 一 良

(公 印 省 略)

肝炎治療特別促進事業に関する広報について

肝炎医療費助成につきましては、平成24年3月28日付け福島医発第3023号(地)にてポスター並びにリーフレットを送付しておりましたが、今般、厚生労働省において、平成23年度における本制度の見直しに伴い、標記事業を周知するための広報資材(ポスター、リーフレット)が作成された旨、日本医師会より別紙のとおり通知がありました。

つきましては、貴会におかれましてもご了知いただくとともに、貴会会員への事業の周知・円滑な実施の協力方につき、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、ポスター及びリーフレットは、下記の厚生労働省HPに掲載されておりますことを申し添えます。

記

【厚生労働省肝炎総合対策の推進 URL】

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou09/poster.html>

小郡三井医師会より

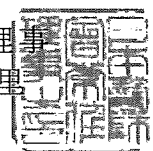
感染症対策担当理事 白石恒明
医療保険担当理事 山下拓郎
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ10)

平成24年4月17日

都道府県医師会
担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事
道 永 麻 里

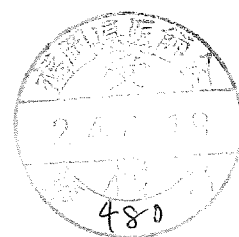


肝炎治療特別促進事業に関する広報資材の送付について

標記の事業につきましては、B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療ならびにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療について医療費を助成する制度であります。

平成23年度における本制度の見直しに伴い、同事業周知のための広報資材（ポスター、リーフレット）が厚生労働省により作成されました。

つきましては、ポスター、リーフレットを貴会宛お送りいたしますので、本件についてご了知いただき、郡市区医師会、関係医療機関等に対する本事業の周知・円滑な実施の協力方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。



B型・C型肝炎の患者のみなさまへ

インターフェロン治療、
核酸アナログ製剤治療の

医療費助成を行っています。

*原則、月あたり**1万円**

(世帯所得の高い方については、**2万円**)

を超える部分について、医療費を助成します。

～平成23年度から下記の治療も助成対象となりました。～

- 1 B型肝炎に対する
ペグインターフェロン単独療法
- 2 C型肝炎の代償性肝硬変に対する2剤併用療法
(ペグインターフェロン、リバビリン)
- 3 C型肝炎に対する3剤併用療法
(ペグインターフェロン、リバビリン、テラプレビル)

詳しくはお住まいの都道府県にお問い合わせください。



7月28日は
日本肝炎デー



厚生労働省健康局

ウイルス性肝炎の治療に関するお知らせについて



肝炎ウイルスに 感染していることが分かったら

- まずは専門医に相談してみましょう。
そこで、本格的な治療が必要かどうかを判断します。

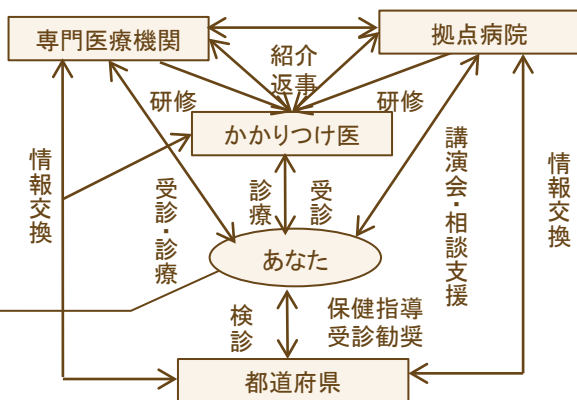
肝炎ウイルスに感染しても、ずっと症状が出ないまま終わることもあり、すぐには治療が必要ではない場合もあります。

また、治療は、症状と体の状態に合わせて選びます。

治療はどこで受ければ良いですか？

都道府県では、肝疾患診療連携拠点病院を指定しており、ここを中心として、都道府県内の各病院、そしてあなたのかかりつけ医が一緒になって、あなたの治療を応援する体制を作っています。

治療に関して、何か不安なことや気になること、最新の治療などについて聞きたいことがあれば、お気軽にかかりつけ医等に相談してみてください。



全国C型肝炎診療懇談会

「都道府県における肝炎検査後肝疾患診療体制に関するガイドライン」(H19.1.26)より

医療費に対する助成が受けられます。



＜自己負担限度月額＞

月あたり原則 1 万円（上位所得世帯 2 万円）を超える医療費について助成が受けられます。

＜対象となる治療＞

1 B型肝炎に対する治療

- (1) インターフェロン (α 、 β)
- (2) ペグインターフェロン
※平成23年9月から
- (3) 核酸アナログ製剤

2 C型肝炎に対する治療

- (1) インターフェロン (α 、 β)
 - ① 単剤
 - ② リバビリンとの併用療法
- (2) ペグインターフェロン
 - ① 単剤
 - ② リバビリンとの併用療法
 - ③ リバビリンとテラプレビルとの併用療法
※平成23年11月から

(注) 医療費の助成を申請される場合は、上記の治療法や種類について、専門医又は主治医とよくご相談ください。

●公費による医療費助成の対象となる治療について

(1) インターフェロン治療

- インターフェロンは免疫系・炎症の調節等に作用して効果を発揮する薬剤で、ウイルス性肝炎を根治する目的で使用されます。
- B型肝炎の場合 約3割
C型肝炎の場合 約5割～9割の人が治療効果を期待できます。
※治療効果は、遺伝子型やウイルス量などによって異なります。
- 強い副作用を伴うことが多いので、医師とよく相談してください。
主な副作用：インフルエンザ様症状（発熱、頭痛、筋肉痛等）、白血球・好中球減少、血小板減少、不眠、うつ、投与部位の痛み、脱毛、めまい

(2) 核酸アナログ製剤治療

- 核酸アナログ製剤は、B型肝炎ウイルスのDNA合成を阻害する作用がある薬剤で、ウイルスの増殖抑制の効果があります。
- 治療にあたっては、下記のような留意点がありますので、専門医療機関等の医師とよく相談してください。

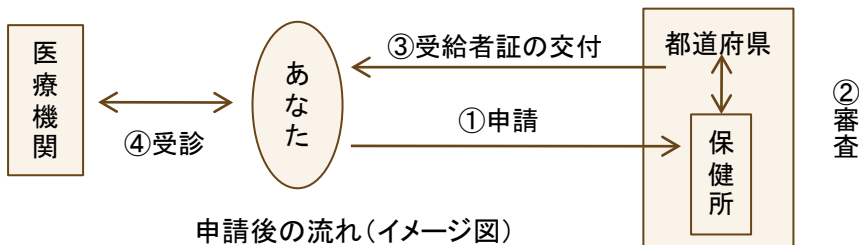
服用を中止することにより、肝炎が増悪する場合がありますので、自己の判断で中止しないでください。

薬剤投与中に耐性ウイルスが出現して肝炎が増悪する場合がありますので、B型慢性肝疾患の治療に十分な知識と経験を持つ医師の下で治療を受ける必要があります。

助成を受けるには、どのような手続きが必要なのですか？

以下の書類が必要となりますので、詳しくは都道府県又はお近くの保健所にお問い合わせください。

- ①肝炎治療（インターフェロン治療又は核酸アナログ製剤治療）受給者証交付申請書
- ②医師の診断書（発行:かかりつけ医など）
- ③あなたの氏名が記載された被保険者証等の写し（発行:各保険者）
- ④あなたの属する世帯の全員について記載のある住民票の写し
- ⑤市町村民税課税年額を証明する書類（発行:お住まいの市町村）



～ 感染拡大の予防のために ～

以下に、主な注意点を挙げます。

<B型肝炎>

- ・ 歯ブラシ、カミソリ、ピアスなど血液がつく可能性のあるものを他人と共用しない。
- ・ 血液や分泌物の付着したものは、むき出しにならないようにしっかり包んで捨てるか、流水でよく洗い流す。
- ・ 外傷、皮膚炎、鼻血、月経血などではできるだけ自分で手当てをする。
- ・ 献血、入れ墨などを行わない。
- ・ 性行為にはコンドームを使用する。
- ・ 出産の際には適切な母子感染予防措置を受ける。

※B型肝炎の場合はワクチンによる感染予防が可能です。
同居するご家族等へのワクチン接種をお勧めします。

<C型肝炎>

- ・ 歯ブラシ、カミソリ、ピアスなど血液がつく可能性のあるものを他人と共用しない。
- ・ 血液や分泌物の付着したものは、むき出しにならないようにしっかり包んで捨てるか、流水でよく洗い流す。
- ・ 外傷、皮膚炎、鼻血、月経血などではできるだけ自分で手当てをする。
- ・ 献血、入れ墨などを行わない。

(お問い合わせ先)

- 厚生労働省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室

TEL:03-5253-1111(月～金曜日、9時半～18時)

URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou09/index.html>

- 公益財団法人ウイルス肝炎研究財団(病気の相談など)

TEL:03-5689-8202(月～金曜日、10時～16時)

URL: <http://www.vhjf.or.jp/08.consul/index.html>

Mail: vhjf@jeans.ocn.ne.jp

(製作) 厚生労働省健康局

7月28日は
日本肝炎デー

